

チーム豊成の力を高め、「潤いと勢い」のある学校づくり *Connect*

帯広市立豊成小学校 キャリアプロジェクト通信



令和7年11月25日
NO.12 文責 菊谷



「こだわりの農業」～和田さんの夢や思い～

みんなが元気で健康な毎日を・・安全でおいしいごぼう作り

本校の5年生は「十勝の農業の魅力」について、様々な地域に大人の方に協力していただきました。十勝の農業を体験し、その魅力を知り、発信する学習として、「中村農園」で玉ねぎの栽培を経験し、作物を育てる魅力や苦労を感じ取ることができました。満寿屋パンの社長さんとは、地産地消のピザ作りで収穫の喜びを味わうことで、実際に十勝の素晴らしさを体験し、農業王国十勝の自給率から、帯広に住んでいることは幸せだということを知りました。

キャリアプランニング能力の育成を目指します。ステキな大人の姿から自分の未来について考えます。

玉ねぎもごぼうも、農作物は種を植えれば育つわけではなく、農家の方の深い愛情や、長年の研究、そして努力の結晶であること。それを教えてくださったのが、5年生にとっては今年度出会う最後のステキな地域の大人。帯広市でごぼうを栽培する「和田農園」の和田さんです。

和田さんがおいしいごぼうを育てるために力を入れていることは、「土作り」です。



人は、食べ物から命をいただいていて、その食べ物は土の栄養（命）をいただいています。土も生命なのです。和田さんは、歯舞や三石から取り寄せた昆布の根や米ぬか、酒かすを配合したミネラルたっぷりの土作りをしています。その年の天候や土の状態などに合わせて配合を工夫し、今も研究を重ねているそうです。6年生が今作っている「ざりかに堆肥」のよさについても話してくださいました。

和田さんがこだわる理由は「おいしいごぼうを育てる過程での、多くの人々との出会い」「体に良いものを食べてもらうことで、多くの人に喜んでもらいたい。」からだそうです。

ミネラルたっぷりのこだわりの土作りは、「みんなに安全でおいしいごぼうを食べてもらいたい。」「みんなに健康でいてほしい」という和田さんの夢やねがいです。情熱をもって作物を育てているステキな大人に出会うことができました。

児童の感想から・・・

- ・ごぼうは苦手だったけど、和田さんのごぼうは甘くておいしかったので、給食のごぼうをちゃんと食べる。
- ・和田さんの努力の結晶がおいしいごぼうだった。自分も努力をして、夢をかなえたいと思った。
- ・和田さんは夢のためにたくさん努力したり研究したりしてすごいと思った。私も農家をやりたいと思った。

